# 安全データシート

製品名: マグナ 720 パージ: 1/9 日付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. E M 7 2 0 SDS-ID: GB-EN/2.0

# セクション1:製品及び会社情報

1.1. 製品 識別子

<u>製品 名:</u> マグナ 720

<u>容器のサイズ:</u> 1 kg, 2 kg、4kg

1.2. 物質または混合物の関連する特定された用途および用途に対する助言を使用:

手動金属アーク溶接電極。

1.3. 安全データシートサプライヤーのサプライヤーの詳細:

輸入者: 日本国内 輸入元 株式会社エクシード

テクニカルカスタマーセンター:

#### <u>1.4.</u> メーカー:

製造者 ITW PP & F Korea Limited.

13th Fl., Unit B, PAX Tower 609 Eonju-ro, Gangnam-gu Seoul, Korea 06108

Tel:+82-2-2088-3560 Fax:+82-2-513-3567

www.magnagroup.com

詳しい情報は以下から入手できます:

magna@magnagroup.com

安全データーの担当著者 SDS\_info@dhigroup.com

マグナ 溶接合金

(マグナ商標はITW株式会社の財産であり、ITW PP&F韓国有限公司のライセンスの下で使用されています。

### 1.5. 緊急電話番号緊急電話:

緊急時は救命センターの緊急番号で医師/救命士を呼んでください。

## セクション2:危険有害性の要約

**2.1.** 物質または混合物CLPの分類: GHS分類(化審法、安衛法)

CLPの分類:分類されない。

### 2.2. ラベル 要素

固体金属や合金は、人間の健康や環境に危険を与えない場合、それらが市場に出されている形で危険を示さない場合、 ハザードラベルを必要としません。ラベルに表示される情報をここに示します。 ご要望に応じて安全データシートをご 利用いただけます。



### 2.3. その他 の危険

PBT/vPvB: 本製品にはPBTまたはvPvB物質は含まれていません。

その他: 融点以上の加熱は、吸入によって金属ヒューム熱を引き起こす可能性のある金属酸化物を

放出する。症状は、震え、発熱、倦怠感および 筋肉痛である。

製品名: マグナ 720 ページ: 2/9 日付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. E M 7 2 0 SDS-ID: GB-EN/2.0

# セクション3:組成、成分情報 PRTR法(化管法)分類

#### 3.2. 混合物

閾値を超える分類された物質のみが表示されます。

製品中のすべての物質は登録されているか、REACHに基づく登録が免除されています。

ClP:

<u>%:</u>	CAS-No.:	EC No.:	REACH Reg. No:	化学名:	危険 分類:	<u>ノート</u> ・
60-100	7439-89-6	231-096-4	01-2119462838-24- XXXX	鉄 Iron	-	<del>'</del> #
5-10	7789-75-5	232-188-7	17-2119399297-20- XXXX	フッ化カルシウム Calcium fluoride	-	#
5-10	513-77-9	208-167-3	01-2119489177-25- XXXX	炭酸バリウム Barium carbonate	急性 トックス。 4;H302	
5-10	1317-65-3	215-279-6	-	石灰岩 Limestone	-	#
1-5	7439-96-5	231-105-1	01-2119449803-34- XXXX	マンガン Manganese	水生 慢性 3;H412	
1-5	7782-42-5	231-955-3	01-2119486977-12- XXXX	黒鉛 Graphite	-	#

注: #: 物質には露出制限が割り当てられています。セクション8を参照してください。

参照:すべての危険有害性報告書の全文はセクション 16 に表示されます。

## セクション4:応急措置

## 4.1. 応急処置の説明

溶接時:軽度に見えるかどうかにかかわらず、すべての火傷に対する医師の診察を受けてください。

吸入: 溶接ヒュームの吸入: 新鮮な空気に移動し、安静に保ちます。

持続的な喉の刺激や咳の場合:医師の診察を受け、これらの指示を持ってください。

皮膚接触: 汚染された衣服を取り除き、水で皮膚を十分に洗い流してください。。

材料が高温の場合は、熱傷の治療を行い、直ちに医師の診察を受けてください。

<u>目の接触:</u> 目をこすらない。ほこりを上げる作業中に刺激が発生した場合は、少なくとも15分間

十分な水で洗い流します。

摂取: 製品の形態による可能性は低い。

#### 4.2.最も重要な症状と影響、急性と遅延の両方

症状/効果: 融点を超える加熱は、吸入によって金属ヒューム熱を引き起こす可能性のある金属酸化物

を放出する。症状は震え、発熱、倦怠感、筋肉痛です。健康への影響と症状の詳細につい

ては、セクション 11を参照してください。

### 4.3. 緊急の治療と特別な治療が必要な場合の適応

医師の診察/治療が必要です: 症状的に治療する。 \_

製品名: マグナ 720 ページ: 3/9 日 付 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. E M 7 2 O SDS-ID: GB-EN/2.0

### セクション5:火災時の処置

#### 5.1. 消火 媒体

消火媒体:周囲の材料に適した消火媒体を使用します。

5.2. 物質または混合物から生じる特殊な危険

特定の危険:火災時に健康に有害なガスが形成される場合があります。

<u>5.3.</u> <u>消防士への</u>アドバイス

消防士のための保護具: 消火活動のための呼吸保護の選択:職場で示される一般的な火災の予防措置に従ってくださ。

## セクション6:漏出時の措置

6.1. 個人的な注意事項、 保護具及び緊急時の手順

個人的な注意:この安全データシートに記載されている安全な取扱いのための注意事項に従ってください。

6.2. 環境に関する注意事項: 環境への配慮

環境に関する 製品は自然界に投棄されるべきではなく、地元当局との合意に従って収集される

注意事項: べきである。

## 6.3. 封じ込めと浄化のための方法と材料:

浄化の方法:関係ありません。

**6.4.** 他のセクションへの参照

<u>参考資料:</u>個人保護については、セクション8を参照してください。 廃棄物処理については、セクション13を参照してください。

### セクション7:取扱い及び保管上の注意

#### 7.1.安全な取扱いのための注意事項

安全な取扱いのアドバイス:溶接時:煙を吸わない。良い化学衛生慣行を遵守してください。

技術的な対策:特別な予防措置はありません。

技術的な注意:溶接時:機械的換気が必要な場合があります。

### 7.2. 非互換性を含む安全な保管の条件

安全な保管のための

技術的措置: 特別な予防措置はありません。

保管条件: 乾燥した場所に閉じた元の容器に保管してください

。<u>7.3.</u> 特定のエンドユース

具体的な 用途: 溶接材料

製品名: マグナ 720 ページ: 4/9 日 付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. E M 7 2 0 SDS-ID: GB-EN/2.0

# セクション8:暴露防止及び保護措置

#### <u>8.1.</u> 制御パラメータ

## 職業上の暴露制限:

CAS-No.:	化学 名:	<u>As</u>	露光 限界:	<u>タイプ:</u>	<u>注:</u>	参考文献:
513-77-9	バリウム 化合物、 可溶性	Ва	0.5 mg/m3	Twa	-	EH40
-	酸化鉄、煙	Fe	$5~\mathrm{mg/m3}$	Twa	-	EH40
		-	10  mg/m3	設定	15分	
1317-65-3	石灰岩、吸入可能な粉塵計	-	10 mg/m3	Twa	-	EH40
1317-65-3	石灰岩、吸引性 粉塵	-	4 mg/m3	Twa	-	EH40
7782-42-5	グラファイト、 呼吸可能な 粉塵	-	4 mg/m3	Twa	-	EH40
7782-42-5	グラファイト、 吸入可能な 粉塵	-	10 mg/m3	Twa	-	EH40
7439-96-5	マンガン及びその 無機 化合物	Mn	0.5 mg/m3	Twa	-	EH40
-	フッ化物(無機)	F	2.5 mg/m3	Twa	-	EH40

注:EH40:EH40/2005。

# 8.2. 露出 制御

エンジニアリング対策: 溶接時:適切な換気を提供します。職業上の露出を観察する

制限し、ほこりや煙の吸入のリスクを最小限に抑えます。

個人保護: 個人保護機器は、関連するに従って選択する必要があります

個人保護具のサプライヤーとの間での標準および議論の中で。

溶接時:目、皮膚、呼吸器系の保護のために特別な溶接装置を使用してください。

衛生対策: 取扱後に手を洗う。汚染された衣類を交換してください。

環境暴露 制御: 利用できません。

製品名: マグナ 720 ページ: 5/9 日 付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. E M 7 2 0 SDS-ID: GB-EN/2.0

## セクション9:物理的及び科学的性質

### 9.1. 基本的な物理的および化学的特性の情報:

外観: フラックスコーティング棒付き

<u>臭い:</u> 利用できません。
<u>対:</u> 適用できません。
<u>融点/凝固点</u>:>1000℃<u>沸点:</u> 該当しません。
引火点: 使用できません。
蒸発 率: 適用されませ。

燃焼性(固体、 ガス):利用できませ。蒸気圧:適用されませ。蒸気密度:適用できません。

<u>溶解度:</u> <u>水</u>に溶ける

<u>分配係数(n- オク</u>

タノール/水): 適用できませ。

自動点火温度

\_\_\_\_\_ (℃): 利用できませ。

分解 温度 利用できませ。

(℃):

<u>粘度:</u> 適用できませ

9.2. その他の情報

その他の データ: 利用できません。

# セクション10:安定性及び反応性

# <u>10.1. 反応性</u>

反応性: 反応性がありません。

## <u>10.2.</u> 化学安定性

安定性: 常温条件下で安定しており、使用をお勧めします。

## 10.3. 危険な反応の可能性

危険な反応: 何もないし。

#### 10.4. <u>避けるべき</u>条件

避けるべき状態/材料:具体的になし。

### 10.5. 互換性のない材料

互換性のない材料:水、水分。酸との接触を避ける。

# 10.6. 危険分解製品

## 危険分解 製品:

通常の条件下ではなし。

製品名 マグナ 720 ページ: 6/9 :日 付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. E M 7 2 0 SDS-ID: GB-EN/2.

## セクション11:有害性情報

11.1.毒物学的影響に関する情報

急性毒性(経口): 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

急性毒性(皮膚): 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

急性毒性(吸入): 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

皮膚腐食/刺激: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

深刻な眼の損傷/刺激: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

呼吸器または皮膚の感作: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

生殖細胞変異原性: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

発がん性: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

生殖毒性: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

STOT - 単一露出: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

STOT - 繰り返し露光: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

吸引の危険: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

吸入: 融点以上の加熱は、金属の酸化物を放出し、吸入によって金属ヒューム熱を引き起こす

可能性があります。症状は震え、発熱、倦怠感、筋肉痛です。

皮膚接触: 溶融物は重度の火傷を引き起こす可能性があります。

眼の接触: 眼の粒子/煙は不快感/刺激を引き起こす可能性があります。

摂取: 製品の形態による可能性は低い。

具体的な効果: 溶接ヒュームへの長時間または繰り返し暴露は、肺や呼吸器系に損傷を与える

可能性があります。

## セクッション12:生態学的情報

12.1. 毒性

環境毒性: 環境にとって危険とは見なされません。

12.2. 持続性と劣化性

分解性: この製品は、生分解性ではない無機化合物のみで構成されています。

12.3. 生物蓄積ポテンシャル

生物蓄積の可能性: 生物蓄積に関するデータはありません。

12.4. 土壌中の移動性

<u>モビリティ:</u> モバイルとは見なされません。

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

<u>PBT/vPvB:</u> 現在のEU基準でPBT/vPvB として分類されていません。

12.6. その他の悪影響

その他の有害作用: 知られていない.

製品名: マグナ 720 ページ: 7/9 日 付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. EM720 SDS-ID: GB-EN/2.0

# セクション13:廃棄に関する考慮事項.廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄物処理方法

地方自治体の要件に従って廃棄物と残留物を処分する。残渣からの廃棄物:

EWCコード: 12 01 13

# セクション14:輸送上の注意

危険物の輸送に関する国際的な規制(IMDG、IATA、ADR/RID)の対象外です。

<u>14.1.</u> 国連 番号

<u>国連No:</u> - 規制されていない

14.2. 国連の適切な出荷名適切な出

<u>荷名:</u> -\_

**14.3**. 14.3。輸送ハザードクラ(es)

<u>クラス:</u>

**14.4.** 梱包 グループ

<u>PG:</u> –

14.5. 環境災害 海洋 汚染物質:

-

環境有害物質

: \_

14.6. ユーザーのための特別な注意事項

特別な注意事項:

14.7. MARPOLの附属書IIと一括でのIBCコードトランスポートに従って一括輸送: -

製品名: マグナ 720 ページ: 8/9 日 付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. EM720 SDS-ID: GB-EN/2.0

# セクション15: 法令規制の適用情報

#### 15.1. 物質または混合物に固有の安全、健康および環境規制/法律

国家<u>規制:</u>欧州化学庁を設立する欧州化学物質の登録、評価、認可及び制限(REACH)に関する欧州議会および2006年12月18日理事会の規制(EC)No 1907/2006 指令1999/45 /ECを改正し、理事会規制(EEC)No 793/93および委員会規制(EC)No 1488/94、および評議会指令76/769/EECおよび委員会指令91/155/EEC、93/67/EEC、93/105/ECおよび2000/21/EC改訂規制(EC) 2008年12月16日の欧州議会および理事会の規制1272/2008は、物質および混合物の分類、表示および包装、67/548/EECおよび1999/45/ECの改正および廃止、および規制(EC)No 1907/2006のメンドメントに関する。

健康に有害な物質の管理 2002 (S.I 2002 No. 2677) 改正 EH40/2005、 職場 の露出 は 2005年 に 制限され、修正が行なえます。 廃棄物リスト(イングランド)(改正)規則2005。(SI 2005 No.895)。

# 15.2. ケミカし 安全性 評価

<u>CSA ステータス:</u> 関連しません。

製品名: マグナ 720 ページ: 9/9 日 付: 2017-07-25 最終改訂日: 2019-05-13 製品 No. EM720 SDS-ID: GB-EN/2.0

## セクション16:その他の情報

ユーザーは、適切な作業手順で指示を受け、これらの手順の内容を理解している必要があります。3,16

Magna Welding Alloys I TW PP & F Korea LIMITED 13th Fl., Unit B, PAX Tower,

609, Eonju-Ro, Gangnam-Gu, Korea 06108 Tel: +82-2-2088-3560 Fax: +82-2-513-3567

Web site: www.magnagroup.com

そのマグナのトレードマークは I TW Inc.( Illinois Tool Works / イリノイ・ツール・ワークス)の著作権正である。 そしてITW PP&F Korea Limitedのライセンスの下使用されています。

安全データシートで使用される PBT = 持続性、生物蓄積性、毒性。vPvB =非常に持続

略語と頭字語: 的で非常に生物的な.

データの主な文献参照とソース: なし。

追加情報: なし。

H<u>−声明:</u>

H302 飲み込むと有害です。

H41 2長寿命効果と水生生物に有害.

このデータシートの情報は、当社の最新データを表し、製品が所定の条件下で、およびパッケージおよび/または技術ガイダンス資料に記載されているアプリケーションに従って使用される場合、信頼性が高い。 他の製品または他のプロセスと組み合わせて使用する製品のその他の使用は、ユーザーの責任です。

DHIによって作られた-環境と毒物学、アゲルン・アレ5、DK-2970ホルスホルム、デンマーク。 www.dhigroup.com。

17. 日本国内輸入元 株式会社エクシードによりITW PP&F Korea Limitedが発行する英文SDSを

日本語に本翻訳しました正式なSDSです。

株式会社エクシード

本社事務所:神奈川県愛甲郡愛川町角田2867番地

 $\mp$ 243-0301 : TEL : 046-281-5885 FAX : 046-281-5887